



学校だより

令和3年7月12日（月）

大分市立賀来小中学校

校長 生野京子

NO7

子どもたちの目が輝くとき

7年生体験活動（7月1, 2日）

7月2日（金）に7年生が「のつはる少年自然の家」へ体験活動に行きました。本来ならば、一泊二日の日程で行うところですが、感染症の影響で、宿泊なしで、1日目は校内での体験学習、2日目はのつはる少年自然の家での体験学習を行いました。1日には「人権講演会」や「クラスマッチ」や「救急救命講習・練習」を行いました。2日目は自然の家で「竹箸づくり」その後は「野鳥ビンゴ」を行いました。

実行委員はきちんと打ち合わせを行い、会の進行を行いました。部活動や定期テストがある中で、忙しかっただしょうがよく頑張りました。また、竹箸づくりのかたづけに積極的に取り組む姿や友だちと協力して生き生きと野鳥ビンゴに取り組む姿等を見ることができてうれしかったです。最後の学校での集会で私がまとめの言葉を言いました。その時は疲れていたのにも関わらず、子どもたちの目は真剣でした。まっすぐ私のほうを見て、「今日の私たちの活動はどうだったのだろう。」という思いで聞いていたのがよくわかりました。きっと、精いっぱいやり切ったという思いがあったのでしょう。私は「来年8年生になり、宿泊を伴う修学旅行を成功させるために『集団の力』をつけてほしい」ともっと伸びてほしいという願いをこめて話しました。来年、もっと成長し、一緒に「修学旅行」に行くことが楽しみです。



輝く瞳で話を聞く7年生。後姿の姿勢からわかります

8年生職業講和（7月1, 2日）

本年度も感染症の影響で職場体験に行くことができませんでした。しかし、「おやじの会」の力をお借りして、8年生は職業の講話を聴くことができました。子どもたちにとってはとても貴重なお話だったことが、感想からうかがえました。では、生徒の感想の抜粋を紹介します。

「私は警察官に興味がありました。今回、知らないことをたくさん聞くことができました。また、物流の仕事や労働基準監督官とか、まったく知らない職業にも興味を持つことができました。（中略）半導体機器製造メーカーの方の説明はとてもわかりやすく、まだまだ知りたいことがありました。また、全員の方から、仕事をする上で大切なこととか、教えてもらったけど、日ごろからできることをしていきたいと思いました。スイミングのコーチからは感謝すること、物流の仕事の方からは今している勉強の大切さ、半導体機器メーカーで働いている人からは一つのことを本気で学ぶことの大切さを、最後に警察官の方からは『自転車に乗るときはヘルメットを着けること』と言われました。」

また、ドローン体験をさせていただきました。私たちが子どもころにはなかったものです。これからの未来を創造していく生徒たちにとって、貴重な体験となったことでしょう。生徒の感想には「チャレンジ」「コミュニケーション」「あいさつ」「感謝」の文字が踊ります。

お忙しい中でのご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。